

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年01月16日

計画の名称	境港市社会資本総合整備計画(重点)(地域住宅計画 期(建替))												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和03年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	境港市												
計画の目標	少子高齢化と人口減少社会の進展、多様化する住民ニーズ等を的確に捉え、安心して暮らせる住まい環境の実現。 適切な管理が行われていない危険な状態にある空家等の除却を推進することにより、地域住民の生活環境の保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	138	A	138	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H33末
1	建替設計(木造30戸、中層耐火60戸、計90戸) 今期は木造30戸の設計 建替設計(木造30戸、中層耐火60戸) 今期計画戸数を全体計画戸数で除した数値 (全体90戸、H31末30戸、今期末30戸)	0%	33%	33%
2	建替工事(木造30戸、中層耐火60戸、計90戸) 今期は木造15戸の建設 建替工事(木造30戸、中層耐火60戸) 今期計画戸数を全体計画戸数で除した数値 (全体90戸、H31末5戸、今期末15戸)	0%	6%	17%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H33末
3	解体工事(簡易耐火13棟49戸、中層耐火3棟64戸、計16棟113戸) 今期は簡易耐火2棟8戸の解体 解体工事(簡易耐火49戸、中層耐火64戸) 今期計画戸数を全体計画戸数で除した数値 (全体113戸、H31末0戸、今期末8戸)	0%	0%	7%
4	入居者移転(予定戸数・・・簡易耐火30戸、中層耐火59戸、計89戸) 今期は簡易耐火13戸の移転 入居者移転(簡易耐火30戸、中層耐火59戸) 今期計画戸数を全体計画戸数で除した数値 (全体89戸、H31末5戸、今期末13戸)	0%	6%	15%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	境港市	直接	境港市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅建替事業等)	市営住宅建替え(20戸)	境港市						109		策定済	
	A15-002	住宅	一般	境港市	直接	境港市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅建替事業等)	既存公営住宅の除却	境港市						28		策定済	
	A15-003	住宅	一般	境港市	直接	境港市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅建替事業等)	簡易耐火住宅入居世帯の移転	境港市						1		策定済	
												小計						138		
												合計							138	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 境港市において実施	事後評価の実施時期 計画期間終了後（令和4年12月）
	公表の方法 境港市ホームページに境港市
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 公営住宅建替事業により、衛生環境を始め市営住宅入居者のQoL向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画においても市営住宅入居者のQoLの向上に努め、「笑顔あふれる 日本一住みたいまち境港」を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	建替設計(木造30戸、中層耐火60戸、計90戸) 今期は木造30戸の設計	
	最終目標値	33%
	最終実績値	28%
最終目標値を下回っているが、入居者の退去に伴い必要戸数が減少したことによるものであり、今期の計画は予定通り実施できている。		
2	建替工事(木造30戸、中層耐火60戸、計90戸) 今期は木造15戸の建設	
	最終目標値	17%
	最終実績値	6%
上記により、建設よりも解体を先行することとしたため最終目標値を下回っているが、一定の事業効果を得られた。		
3	解体工事(簡易耐火13棟49戸、中層耐火3棟64戸、計16棟113戸) 今期は簡易耐火2棟8戸の解体	
	最終目標値	7%
	最終実績値	26%
上記により、最終目標値を上回った。		
4	入居者移転(予定戸数・・・簡易耐火30戸、中層耐火59戸、89戸) 今期は簡易耐火13戸の移転	
	最終目標値	15%
	最終実績値	9%
上記により、建設よりも解体を先行することとしたため最終目標値を下回っているが、一定の事業効果を得られた。		